

## 第 1 2 章

### 高校生と将来の夢の有無の関係について

データサイエンス学部 横江夢月

#### 1. 問題の所在

現代の高校生の約 3 割は「やりたいことが見つからない、わからない」という（スタディサプリ進路 2023）。また、日本財団（2019）によると、日本を含めた 9 か国で若者に対して意識調査を行った結果、「将来の夢を持っているか」という質問項目に大半の国は回答者の 90%以上が「はい」と答えたのに対し、日本の若者は約 60%と他 8 ヶ国に比べて 30%近く低い数字であった。このように、日本の若者は各国と比べても、将来やりたいことが見つからない、わからないと感じている人が多いと考えられる。

さらに、新型コロナウイルスの感染が拡大し、コロナ禍での生活が若者に将来への不安を与えているという（日本赤十字社 2022）。将来の夢がないという若者が多く、新型コロナウイルスにより若者が将来に対して不安を感じている一方、どのような若者が将来の夢を持っているかについて考察された研究は現状では乏しかったため、将来の夢を持っている若者の特徴、将来の夢を持っていない若者の特徴を調査することは、非常に有用であると考えられる。

以上を踏まえ、高校生と将来の夢の有無の関係はどのようなものかを本稿では明らかにする。続く第 2 節では先行研究を整理し、本稿の仮説を提示する。第 3 節では使用するデータと変数を説明し、第 4 節で分析結果を報告する。最後に第 5 節で分析結果より考察を行う。

#### 2. 先行研究と仮説の検討

##### 2-1. 先行研究

将来の夢の有無と若者の特徴に焦点をあてて検討した研究は少ない。

その中でも、丹と志村（2016）は、日本の子どもたちは将来就きたい仕事や自分の将来のために学習を行う意識が低く、職業意識・職業観が未熟で、進路意識・目的意識が希薄なまま進学する者が増加しているという問題意識のもと、小学生の実態を調査した。その結果、将来の夢の有無は自分への自信や自己理解と関連が深いことが明らかとなった。

次に貧困と将来の夢の関係についての調査を紹介する。中村（2020）は、赤穂市における子どもの貧困の実態を調査し、貧困世帯の子どもは将来の夢や目標を持っていない傾向にあることを明らかにした。貧困世帯の子どもは、進学や学習塾に通うことに制限があり、そのことが将来の夢に影響を与えているのではないかと考察している。

最後に、中学 1・2 年生における目標意識と生活習慣および生きがいの関連を明らかにした調査（山田ら 2016）では、目標意識の尺度として用いられた「将来目標の有無」、「将来目標の渴望」で、学年間で有意な差が見られた。これらはともに 2 年生の方が、1 年生に

比べて有意に得点が高かった。「将来目標の有無」に関する質問は「私には将来の目標がある」「私は将来に夢を持っている」「私にはだいたいの将来計画がある」等であり、「将来目標の渴望」に関する質問は「自分の将来の見通しが欲しい」「自分の将来について考えるのは大切なことだ」等である。これらから、学年が上がるにつれて将来のことを考え、目標や夢を持つ可能性が示唆された。

## 2-2. 仮説の検討

以上を踏まえて、本稿では高校生と将来の夢の有無の関係について、「自尊心が高い人ほど、将来の夢を持っている」という仮説を検討する。丹と志村（2016）の示す通り、自尊心の高さが将来の夢の有無に影響を及ぼすことを、今回のデータでも得られるか検討する。

## 3. 使用するデータと変数

### 3-1. 使用するデータ

使用するデータには、「長浜市中高生調査（こども若者実態調査）」（以下本調査と表記）を使う。調査の概要を表1に示す。このデータは、滋賀県長浜市内の中学校・高校に在籍している生徒に限定しているものの、将来の夢、自尊心について尋ねていることから、本課題を行う上で適切なデータである。なお本調査では高校生の回答のみを使用する。

表1. 調査概要

調査名	長浜市中高生調査（こども若者実態調査）
調査対象	長浜市内の公立高校
調査時期	令和5年7月20日～9月11日
調査方法	インターネット調査（生徒に調査依頼および回答先のQRコード付き案内チラシを配付）
抽出方法	全数調査
サンプルサイズ	900

※調査の詳細は第1章に記載

### 3-2. 使用する変数

従属変数には「将来の夢の有無」を使用する。本調査では、自由記述で将来になりたい職業について尋ねている。具体的な職業を回答していた場合は将来の夢を持っているとし、わからない、決まっていない等を回答していた場合は将来の夢を持っていないとした。また、未回答や言いたくない等の回答は欠損値として分析から除外した。

独立変数には「自尊心」を使用する。本調査では、自尊心の指標として、「自分の良いところが何かを言うことができる」という質問項目の回答を用いた。回答は「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」の4件法であり、多変量解析では肯定的な回答ほど得点が高くなるように「そう思う（4点）」から「そう思わない（1点）」とスコアリングした。

統制変数として性別（女性を1としたダミー変数）、学年（3カテゴリ）、家庭の文化資

本の数（連続量）、家庭の経済状況への不安を感じているかどうか（4カテゴリ）、信頼のおける友達の数（5カテゴリ）を使用した。「家庭の文化資本の数」は、家庭の経済状況の指標として用いており、文化資本として「自分のスマートフォン」、「インターネット設備」、「文学作品」、「自分のパソコン」を持っているかを尋ねている。なお、欠損値のある回答者は分析から除外し、最終的に欠損値のない832名を使用した。

表2に使用する変数の記述統計量を示す。この表によると、将来の夢を持っていない生徒は半数以上と非常に多いことが確認できる。

表2. 使用する変数の記述統計量

変数	高校生 (n=832)	
	Mean (%)	SD
<b>従属変数</b>		
将来の夢の有無		
将来の夢を持っている	44.1	
将来の夢を持っていない	55.9	
<b>独立変数</b>		
自分の良いところが何か言うことができる		
そう思う	22.2	
どちらかと言えばそう思う	33.3	
どちらかと言えばそう思わない	26.7	
そう思わない	17.8	
<b>統制変数</b>		
性別		
男性	45.2	
女性	54.8	
学年		
1年生	53.8	
2年生	34.6	
3年生	11.5	
家庭の文化資本の数	2.6	0.82
家庭の経済状況に不安を感じる		
そう思う	10.5	
どちらかと言えばそう思う	21.2	
どちらかと言えばそう思わない	32.8	
そう思わない	35.6	
信頼のおける友達の数		
0人	4.0	
1~2人	13.3	
3~4人	23.8	
5~9人	24.5	
10人以上	34.4	

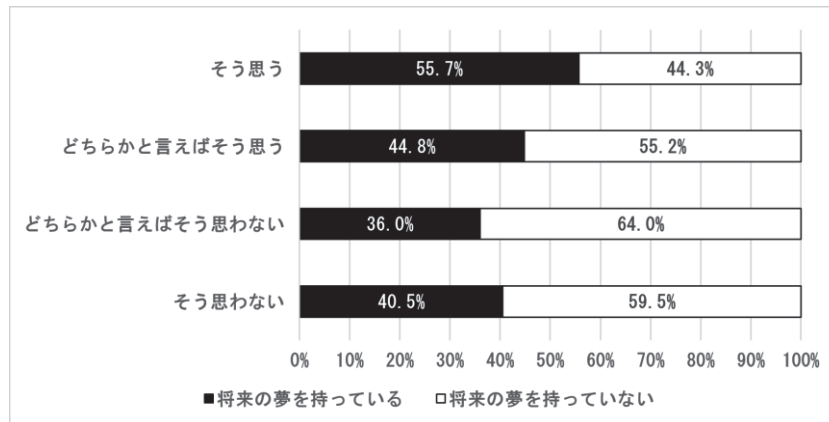
#### 4. 分析

##### 4-1. 基礎的な分析

まず基礎的な分析として、「自分の良いところが何かを言うことができる」という質問に対する回答別の将来の夢の有無についてクロス集計をしたものを図1に示す。クロス集計

の結果、自分の良いところが何かを言うことができるかどうかによって将来の夢の有無に差があることが示された ( $\chi^2=16.721$ ,  $df=3$ ,  $p<0.001$ )。

図 1. 自分の良いところが何かを言うことができるかどうかと将来の夢の有無



#### 4-2. 多変量解析

本節では、自尊心の効果が他の変数を統制しても影響があるか、多変量解析によって検討する。表 3 は二項ロジスティック回帰分析を行った結果である。この表によると、クロス集計で確認したとおり、「自分の良いところが何かを言うことができる」という質問に対し、「そう思わない」と回答した人に比べ、「そう思う」と回答した人の方が将来の夢を持ちやすく、0.1%水準で関連が認められた。また、統制変数に使用した変数でも関連が認められた。女性であるほど、学年が上であるほど、家庭の文化資本の数が多いほど、家庭の経済状況に不安を感じているほど、信頼のおける友達の数が多いほど将来の夢を持つ可能性が高まる。

以上の結果より、自尊心が将来の夢の有無に影響を及ぼしていることが明らかとなり、仮説どおりの結果が得られた。この結果を踏まえて次節では考察を行う。

表 3. 二項ロジスティック回帰分析の結果

変数	B	Exp(B)	標準誤差
切片	-3.899	0.020 ***	0.487
女性ダミー	1.159	3.186 ***	0.157
学年	0.220	1.246 *	0.109
家庭の文化資本の数	0.314	1.369 ***	0.092
家庭の経済状況に不安を感じる	0.180	1.197 *	0.076
信頼のおける友達の数	0.223	1.250 ***	0.067
自分の良いところを言える	0.249	1.283 ***	0.075
n		832	
Nagalkerke R2		0.146	
Cox and Snell R2		0.109	

\*  $p<.05$ , \*\*  $p<.01$ , \*\*\*  $p<.001$

## 5. 考察

本稿では、高校生と将来の夢の有無の関係について検証を行ってきた。分析の結果、自尊心が高い人ほど将来の夢を持つことが明らかとなった。また、統制変数に使用した5つの変数でも将来の夢の有無に関連が確認できた。1つ目に、女性の方が男性よりも将来の夢を持ちやすい傾向が認められた。ベネッセ教育総合研究所（2009）によると、女性の方が早期から将来の職業を意識している傾向が認められており、今回のデータでも同様の結果が得られたといえる。2つ目に、学年が上がるほど将来の夢を持ちやすい傾向が認められた。学年が上がるほど将来について意識し、将来の夢を持ちやすい可能性が示唆された。3つ目に、家庭の文化資本の数が多いほど将来の夢を持ちやすい傾向が認められた。家庭の文化資本の数は、家庭の経済指標として用いた項目である。このことから、家庭の経済状況に余裕があるほど、将来の夢を持ちやすい可能性が示唆された。4つ目に、家庭の経済状況に不安を感じているほど将来の夢を持ちやすい傾向が認められた。この結果は、3つ目と反対の結果が得られたように見える。しかし、この質問は生徒自身に主観的に家庭の経済状況を尋ねていることと、家庭の経済状況に不安を感じている人は専門職志望が多いという結果が得られたことから、家庭の経済状況に不安を感じている生徒ほど安定志向であり、将来の夢を持ちやすいと考えられる。5つ目に、信頼のおける友達の数が多いほど将来の夢を持ちやすい傾向が認められた。信頼のおける友達がおりに、身近に相談できる環境があることで将来の夢を持ちやすいと考えられる。

最後に、残された課題について指摘する。今回使用したデータは限定的で、また、偏りがある。使用したデータは滋賀県長浜市のデータであるため、限定的な結果である。全国サンプルを使用した分析により、日本社会全体での若者と将来の夢の有無の関係について議論することが可能となるだろう。また、今回使用したデータは高校1年生の回答が約半数であり、高校3年生に至っては約1割の回答数と学年に非常に偏りのあるデータである。したがって、より正確な分析を行うには、偏りの少ないデータを用いて分析する必要があるだろう。

## 6. むすび

今回の調査では、自尊心が高い人ほど将来の夢を持つことが明らかになった。このことから、若者が将来の夢を持つためには、自尊心を上げることが大切であるといえる。将来の夢を見つけるために将来の夢についてのみ考えるのではなく、自分自身についても重要だと考えられる。

## 参考文献

ベネッセ教育総合研究所, 2009, 『第2回子ども生活実態基本調査報告書』

日本赤十字社, 2022, 「若者の半数が「何もしたくなくなる、無気力」な気持ちに変化 3人に1人が「関係構築」「対人スキル」への影響を不安視」(2023年8月10日取得, [https://www.jrc.or.jp/press/2022/0106\\_022802.html](https://www.jrc.or.jp/press/2022/0106_022802.html))

日本財団, 2019, 「日本財団「18歳意識調査」第20回テーマ:「国や社会に対する意識」(9カ国調査)」(2023年8月10日取得, <https://www.nippon->

foundation.or.jp/who/news/pr/2019/20191130-38555.html)

中村剛, 2020, 「赤穂市における子供の生活実態調査-剥奪指標の観点から-」, 『関西福祉大学研究紀要』 23:31-38.

スタディサプリ進路, 2023, 「将来の夢がない人へのアドバイス！夢を見つけるための高校生活の送り方と考え方」(2023年8月10日取得, <https://shingakunet.com/journal/column/20230713000007/>)

丹采風・志村結美, 2016, 「家庭科におけるキャリア教育の授業開発」, 『日本家庭科教育学会大会・例会・セミナー研究発表要旨集』 59(0):90-.

山田浩平・嵯峨楓・桐谷紗代・勝俣康之, 2016, 「中学生における目標意識と生活習慣および生きがい感との関連」『東海学校保健研究』, 40(1):89-96